2025 年度日本表面真空学会九州支部学術講演会 (九州表面・薄膜研究会 2025)

「新奇な薄膜・表面現象とその応用の最前線」 令和7年6月28日(土) 福岡大学文系センター4階第4会議室

9:55 開会の挨拶

1. 10:00~10:15

エタノールを用いた CVD 法による Ag 箔上へのグラフェン成長 II

○岩谷光 A、前田文彦 B

A 福岡工業大学大学院工学研究科、B 福岡工業大学工学部

2. 10:15~10:30

固相及び気相成長による Ge 基板上へのグラフェン成長

○武田怜士、前田文彦

福岡工業大学大学院工学研究科

3. 10:30~10:45

大電力パルススパッタリングとプラズマ支援 CVD を用いた低温でのグラフェン堆積

〇岩田晃拓 A、篠原正典 A、松本貴士 B

A 福岡大学工学部、B 東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社

4. 10:45~11:00

閉じ込められた光電子制御プラズマの特性評価

○内藤陽大 A、渡辺貴之 B、鷹林 将 A*

A 有明高専、B 田辺工業(株)

休憩 11:00~11:15

5. 11:15~11:30

定電流規制光電子制御プラズマで成膜したダイヤモンドライクカーボンの応力制御と化学構造

〇出村 翼 A, B、内藤陽大 A、小野晋次郎 C、恵利眞人 C、古閑一憲 C、山本圭介 D、篠原正典 E、鷹林 将 A *

A 有明高専、B 九大工、C 九大シス情、D 熊大 REISI、E 福大工

6. 11:30~11:45

光電子制御タウンゼント放電プラズマによるグラフェンへのドーピング制御 ○関本晃久 A、出村 翼 A, B、内藤陽大 A、篠原正典 C、高橋和敏 D、鷹林 将 A* A 有明高専、B 九大工、C 福大工、D 佐賀大シンクロ

7. 11:45~12:00

マルチホロープラズマ CVD 法によるカーボンナノ粒子の作製

- 一ガス流量・ガス比が構造特性に与える影響の検討一
- ○金城光秀 A、山下瑠翔 A、松葉大晟 A、中田大夢 B、大島多美子 A、柴田翔 C、鎌滝晋礼 C、白谷正治 C

A 長崎大学大学院総合生産科学研究科、B 長崎大学工学部、C 九州大学大学院システム情報 科学府

8. $12:00\sim12:15$

プラズマ浸漬格子ターゲットスパッタリング法による酸化アルミニウム薄膜の作製と表面改質に関する研究(II)

○佐野翼 A、山﨑悠生 A、木山歩優 A、内藤正路 A、碇智徳 B A 九州工業大学大学院、B 宇部工業高等専門学校

昼休み 12:15~13:45

9. 特別講演 13:45~14:45

相関性を有する膜特性の独立制御へのアプローチ

○白谷正治 A

A 九州大学大学院システム情報科学研究院

休憩 14:45~15:00

10. 15:00~15:15

第一原理計算による ダイヤモンド水素終端表面構造の電子状態解析

○中野尾駿、制野かおり

九州工業大学大学院工学府

11. 15:15~15:30

水素終端 Si(100)表面上に作製した Si ナノ領域の 2 探針 STM による計測

○小野田穣 A、Lucian Livadaru B、Robert Wolkow B, C、Jason Pitters D

A福岡教育大学、Bアルバータ大学、C Quantum Silicon Inc.、Dカナダ国立研究評議会

12. 15:30~15:45

TCNQ 吸着による Si(111)-quasi-5.5×5.5-In 表面の保護

○鈴木孝将、柳生数馬

福岡大学工学部

13. 15:45~16:00

次元削減による空間分解 ARPES の測定時間の短縮

○古賀大次郎 A、今村真幸 B、高橋和敏 B

A 佐賀大学大学院理工学研究科、B 佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター

休憩 16:00~16:15

14. 16:15~16:30

角度分解光電子分光法を用いた Au(111)上亜鉛フタロシアニン超薄膜の 2 次元配列

○松藤那央樹 A、山本勇 B、今村真幸 B、東純平 B、高橋和敏 B

A 佐賀大学大学院理工学研究科、B 佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター

15. 16:30~16:45

Ag(111)表面上の平坦なハニカム構造 Bi の構造決定

○張子雍 A*、陳曉賓 A、中川剛志 B

A 九州大学大学院総合理工学府、B 九州大学大学院総合理工学研究院

16. 16:45~17:00

TiO2光電極から Pt 助触媒への励起キャリア移動の in-situ SEIRAS 観測

○義永悠人、芦村秀、吉田真明

山口大学大学院創成科学研究科

17. 17:00~17:15

In-situ SEIRAS 測定を用いた TiO2 光触媒粉末から Pt 及び Ir 助触媒への励起キャリア移動 観測

○森桜汰、芦村秀、吉田真明

山口大学大学院創成科学研究科

17:15 閉会の辞